

はちのへ 市議会だより

平成26年3月定例会

No. 86

2014年(平成26年)4月20日発行



三陸沿岸道路八戸南環状道路が開通 3月29日、開通式が行われました。

平成26年度八戸市一般会計予算などを可決

平成26年3月定例会は、2月25日から3月20日までの24日間の会期で開かれ、平成25年度八戸市一般会計補正予算など、議案73件を可決して閉会しました。

主な内容

- 議案の賛否……………2ページ
- 意見書……………3ページ
- 特別委員会設置……………3ページ
- 請願・陳情の審査結果……………3ページ
- 議員提出議案……………3ページ
- 新年度予算などに対する
各会派の意見……………4ページ
- 一般質問……………5～6ページ
- お知らせ……………6ページ

平成26年度八戸市一般会計予算 ○予算総額 873億5,000万円

主なもの

- 風しん予防接種等事業費……………1,141万3千円
(抗体検査、ワクチン接種費用に対する助成)
- 屋内スケート場建設事業費……………1億1,921万円
(地形測量、地質調査、基本設計など)
- 道路・排水路等重点改良事業費……………17億円
(道路維持・改良事業費、側溝築造事業費など)
- ブックスタート事業費……………390万円
(赤ちゃんと保護者が絵本に親しむためのブックスタートパックの配布)

編集・発行 八戸市議会 八戸市内丸一丁目1番1号

TEL: 43-2111(内線403) / FAX: 47-0744

e-mail: gikaisho@city.hachinohe.aomori.jp

はちのへ市議会だよりは、市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp>

会派別議案賛否一覧表

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

区分	議案	会派名							議決結果	
		自民 市民クラブ	さ ず な ク ラ ブ	公 明 党	会 派 四 季	日 本 共 産 党 議 員 団	政 新 ク ラ ブ	無 所 属		
予算	平成26年度八戸市一般会計予算	○	○*	○	○	×	○	○	原案可決	
	平成26年度八戸市自動車運送事業会計予算	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成26年度八戸市立市民病院事業会計予算	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成26年度八戸市特別会計予算 全13件	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市一般会計補正予算（議案第17号、第18号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市一般会計補正予算（議案第62号）	○	○*	○	○	×	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市自動車運送事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市立市民病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市特別会計補正予算（議案第21号～第32号）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成25年度八戸市特別会計補正予算（議案第63号～第65号）	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
人事	八戸市固定資産評価員の選任（ <small>暫定</small> 村岡 威律 氏）	○	○*	○	○	○	○	○	同意	
市長提出議案	条例	八戸市基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市種差海岸休憩所条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸ポータルミュージアム条例及び消費税等の率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市附属機関設置条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市手数料条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市中小企業振興条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市企業立地促進条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	×	○	○	原案可決
		障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市訪問介護サービス手数料徴収条例を廃止する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市休日夜間急病診療所条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市職員定数条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市立市民病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		八戸市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	×	○	○	原案可決
八戸市非常勤消防団員の退職報償金支給条例の一部を改正する条例	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決		
その他	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	指定管理者の指定	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	公有水面の埋立てに係る意見	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	町の名称を定めること	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	定住自立圏形成協定の変更 全7件	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	土地の買入れ	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
	指定ごみ袋の買入れ	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決	
議員提出議案	条例	八戸市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決	
		「手話言語法」制定を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	意見書	雇用の安定を求める意見書	○	○*	○	○	○	○	○	原案可決
		その他	屋内スケート場建設特別委員会設置	○	○	○	○	○	○	原案可決

*石橋充志議員は欠席。他の議員は賛成。
 ※議員個別の賛否状況については、市のホームページでご覧になれます。
 ※田名部和義議長は採決に加わっていません。

意見書

議員提出議案として、次の意見書を可決し、関係機関へ提出しました。

▷「手話言語法」制定を求める意見書

(要旨)

手話は、手話を使うろう者にとって、大切な情報獲得とコミュニケーションのための手段であり、大切に守られてきたが、ろう学校では手話が禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

平成18年に採択された国連の障害者の権利に関する条約では、「手話は言語」であることが明記され、日本政府は、平成23年に改正した障害者基本法において、国、地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けていることから、法整備を国として実現することが必要と考える。

よって、国に対して、次の事項を講ずるよう強く要望する。

・手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした手話言語法を早期に制定すること。

▷雇用の安定を求める意見書

(要旨)

現在、労働基準法などの労働法制について見直しが検討されており、労働者を保護するルールの後退が懸念される。

わが国は、働く者のうち約9割が雇用関係の下で働く雇用社会であり、安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができる環境を整備することが、日本経済・社会の持続的な成長のために必要である。

また、雇用・労働政策についての労使の利害調整の枠を超えた提言は、公益、使用者、労働者の三者構成原則に基づき労働政策審議会において議論すべきである。

こうした現状に鑑み、国に対して、下記の項目を強く要望する。

・正社員の安易な解雇につながる恐れのある助成金制度及び多様な正社員制度、長時間労働を誘発する恐れのある制度の導入などは、今以上に労働者が不利益になるため行うべきではないことなど。

特別委員会設置

○屋内スケート場建設特別委員会

屋内スケート場の建設促進を図るとともに、同施設の有効活用を踏まえた建設計画等について検討するため、屋内スケート場建設特別委員会を設置しました。

委員長

大館 恒夫 議員

副委員長

五戸 定博 議員

委員

西村 吉晴 議員	吉田 淳一 議員
前澤 時廣 議員	大島 一男 議員
石橋 充志 議員	秋山 恭寛 議員
山口 広道 議員	坂本 美洋 議員
吉田 博司 議員	

(平成26年3月20日現在)

会派別所属議員

自由民主・市民クラブ	高山 元延 藤川 優里 島脇 一男 豊田 美好 松橋 知夫 大館 恒夫	伊藤 一喜 小屋敷 孝 三浦 隆宏 立花 敬之 秋山 恭寛 坂本 美洋	工藤 悠平 森園 秀一 壬生八十博 吉田 淳一 山口 広道
きずなクラブ	田中 満 田名部 和義 五戸 定博 吉田 博司	三浦 博司 下田 保夫 八嶋 隆	冷水 保 古館 傳之助 石橋 充志
公明党	夏坂 修	前澤 時廣	
会派四季	坂本 眞将	大島 一男	
日本共産党議員団	田端 文明	松田 勝	
政新クラブ	高橋 一馬	西村 吉晴	
無所属	伊藤 圓子		

※平成26年2月19日付けで「会派四季」が結成されました。

請願・陳情の審査結果

不採択となったもの

- 特定秘密保護法の撤廃を求める意見書採択の請願
(付託先 総務常任委員会)
- 介護保険制度改革の中止を求める意見書の提出を求める陳情
(付託先 民生常任委員会)
- 国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める陳情
(付託先 総務常任委員会)

継続して審査するもの

- 国へTPP交渉からの撤退を求める意見書提出の請願
(付託先 経常任委員会)
- 日本政府に核兵器全面禁止の決断と行動を求める意見書の採択を求める請願
(付託先 民生常任委員会)
- 看護師等の夜勤労働改善・大幅増員を求める陳情
(付託先 民生常任委員会)

議員提出議案

○八戸市議会委員会条例の一部を改正する条例

議会運営委員会等の定数を変更し、新たに次の議員が議会運営委員会に所属となりました。

委員 坂本 眞将 議員

新年度予算などに対する各会派の意見

平成26年度予算および関連議案は、予算特別委員会で審査し、3月20日の本会議で全議案とも原案のとおり可決されました。
ここでは、各会派および無所属議員から出された予算などに対する討論の要旨を掲載しました。

自由民主・市民クラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、第5次八戸市総合計画後期推進計画などに基づき、東日本大震災からの復興と経済対策に重点を置いており、津波避難タワーの整備や本のまち八戸構想に着手するなど、ハードとソフトの両面から「より強い より元気なより美しい八戸」の実現のため、重要な施策を遂行しようとしていることに敬意を表する。

自動車運送事業では、消費税増税後も運賃を据え置き市民サービスの向上を図ることを高く評価する。

市民病院事業では、収益確保や経営健全化に努め、成果をあげていることを高く評価する。

きずなクラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、創造的復興に向けて、通常分と復興分の予算を織り交ぜながら、意欲ある事業を展開していることを評価する一方、市民の視点に立った情報公開と説明責任を果たし、効率的で効果的な事業運営を行うことを強く望む。

自動車運送事業では、経営健全化に前進していることを評価し、今後も地域公共交通の活性化と再生に向け、取り組みを加速させることを期待する。

市民病院事業では、市民病院が果たすべき役割を発展させ、医療の質の向上と患者サービスの充実が図られることを期待する。

公明党

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、厳しい財政状況や政府の経済対策が地方に及んでいない中、東日本大震災からの復興や老朽化したインフラの再生など、当市の明るい未来構築を目指し、英知を結集して取り組んでいることに敬意を表する。

自動車運送事業では、苦しい経営状況の中、奮闘していることに敬意を表し、公共交通の役割と経営健全化を両立させるため、さらなる努力を要望する。

市民病院事業では、今後も医師の確保や高度先進医療の充実を図りながら、経営の効率化にも一層努めていくことを要望する。

会派四季

全議案に賛成

当市の平成26年度予算は、現下の厳しい財政状況と経済環境を踏まえ、市財政の健全性に配慮する一方、第5次八戸市行財政改革大綱に基づき、市民生活の向上と福祉の充実を図るため、各種施策に取り組み、行政の効率化と市民サービスの質の向上を目指すことを基本として編成したとのことである。

各事業の実施に当たっては、限られた財源の中で予算が無駄になることのないよう、何をどう行うのか冷静に判断し、必要のあるときには決断することを求めるとともに、日々の行政運営の中で、平成26年度予算が有効活用されることを要望する。

日本共産党議員団

一部の議案に反対

一般会計予算では、救急医療情報キット配付事業や木造住宅耐震改修費用の補助などは評価するが、市立を前提とした屋内スケート場の整備に関する経費などについては反対する。

自動車運送事業では、公共交通は福祉や医療などの施策における土台であり、重要な役割を果たしていることから、路線廃止などで高齢者の病院通いに支障を来すことのないよう配慮を要望し賛成する。

市民病院事業では、医師や看護師不足に対応し、今後も地域の中核病院としての役割を果たすことを強く要望し賛成する。

政新クラブ

全議案に賛成

一般会計予算・各特別会計予算では、市民税の増収が見込まれる一方、義務的経費である扶助費の増加など、厳しい財政環境にあることから、今後も各種施策の効率的な推進を図るとともに、住民の暮らしの向上に鋭意まい進することを期待する。

自動車運送事業では、業務の効率化や経費削減などの努力に敬意を表するとともに、資金不足の解消に向け、一層の経営健全化に努めることを要望する。

市民病院事業では、患者への心配りとサービスの徹底を図るとともに、さらなる経営健全化に努め、中核的基幹病院としての機能を果たすよう要望する。

無所属

全議案に賛成

一般会計予算・各特別会計予算では、財政の健全化を常に念頭に置き、行政運営に努めることを要望し、特に、認知症対策や除雪対策などについて、推進強化を図るよう求める。

自動車運送事業では、バス利用環境のバリアフリー化やバスロケーションシステムの増設を要望する。

市民病院事業では、医師・助産師などの確保に尽力するよう要望する。

予算特別委員会は、3月10日から14日までの5日間の日程で開催されました。

【討論とは】

採決の前に議題となっている案件に対し、会派または自己の賛否の意見を表明することです。

討論が終わると原則として表決に入り、最終的な賛成・反対の意思表示を、起立などにより行います。

一般質問

畜産発展の可能性は

自由民主・市民クラブ代表
大館 恒夫

【問い】 今後の畜産発展の可能性について所見を伺いたい。

【答え】 当市の畜産は、気候や立地などの優位性を生かし、農業の基幹部門として発展しており、特に養豚・養鶏業は、当市のみならず県南、岩手県北地域において大きな集積地を形成し、国内他地域と比べた場合、その優位性からさらなる集積が期待されている。今後は、地域内での畜産物の生産体制拡充により、飼料原材料の貿易量の増加や食品加工業の立地が進み、地域経済の活性化および雇用創出につながっていくものと考えている。

水産加工業の振興策は

きずなクラブ代表
五戸 定博

【問い】 水産加工業に対する振興策について所見を伺いたい。

【答え】 市では、商工会議所が開催する水産加工品展示会に対し助成するとともに、イカ、サバの

ブランド化に取り組み、消費拡大を図っている。

また、国が創設した水産加工業者を対象とする支援事業の活用が円滑に進むよう、情報提供や助言などを行い、水産加工場の整備や新商品開発を推進している。

今後も、機会を捉えて意見交換を行うなど、業界とも十分連携を図りながら、水産加工業の振興に取り組んでいく。

臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金支給事業への対応は

公明党代表
前澤 時廣

【問い】 当市の支給対象者数と総額、DVを理由に避難している方や里親の下で暮らしている子どもたちへの対応および申請方法を含めた周知方法を伺いたい。

【答え】 両給付金の支給対象者数は約6万8900人で、総額は約9億2200万円となる。

また、DVを理由に避難している方などには、支障なく申請し給付金を受給できる配慮がなされており、周知方法については、広報はちのへなどに掲載するほか、申請書送付の際にチラシを同封し、

個別周知を図りたいと考えている。

教育委員会制度改革に対する所見は

会派四季代表
大島 一男

【問い】 国が進めようとする同制度改革について所見を伺いたい。

【答え】 教育は、政治的中立性および持続性・安定性の確保が重要であることから、市長部局とは独立した教育委員会が担うことが望ましいと考えている。

また、当市の状況としても、教育委員会との信頼関係が築かれており、教育行政は円滑に運営されているものと認識している。

今後も、国の動きを注視しながら、教育委員会および教育現場との連携を密にし、教育行政の推進に努めていく。

屋内スケート場を市立とすることに至った経緯は

日本共産党議員団代表
松田 勝

【問い】 県立から市立へと方針転換するに至った経緯を伺いたい。

【答え】 建設財源として予定している国の交付金は、現在、思うように確保できない状況にある。

また、オリンピックの東京開催決定や、県立の場合は県陸上競技場の整備が優先されることから、今後、さらに国の予算獲得が厳しくなることが予想される。

こうした状況の中、早期建設には1年でも早い国の予算獲得が求められることから、知事と会談し、市立への方針転換や、建設費の地元負担分を県が全額補助することなどの合意に至ったものである。

市長の考える八戸の将来像は

政新クラブ代表
西村 吉晴

【問い】 第6次八戸市総合計画策定に向け、現時点での八戸の将来像について所見を伺いたい。

【答え】 当市は、創造性豊かな産業と文化が息づく活力ある北の中核都市として大きな可能性を秘めており、蓄積されたインフラと多くの資源のほか、人や地域の無限の潜在力を結集させることで、北東北のどこにも負けないまちにしたいと考えている。

そのため、中核市の指定を必須条件と位置付けており、中核市への移行をバネに「北東北の雄」と呼べるまちに進化させ、「八戸新時代」を切り拓いていきたい。

受動喫煙防止対策の推進を

無所属
伊藤 圓子

【問い】 受動喫煙防止の啓発と空気クリーン施設認証制度への登録推進について、どのように取り組んでいくのか所見を伺いたい。

【答え】 市では、たばこの健康影響や禁煙などに関する普及啓発を実施してきた。

今後は、民間施設にも取り組みが進むよう関係機関と連携しながら普及啓発を強化するとともに、同認証制度の周知を図っていく。

地域の見守り協定の効果は

公明党
夏坂 修

【問い】 地域の安心・安全見守り協定の具体的な内容と期待される効果について伺いたい。

【答え】 同協定は、高齢者・障がい者などの安否情報や、道路・公園などの安全面の問題に関する情報を宅配業者などの事業者から寄せてもらうものであり、地域の実情に即した、迅速な対応につなげることが可能になると期待しており、平成26年度中の協定締結を目指していきたいと考えている。

一般質問

除雪対応の抜本的な改正を

会派四季

坂本 眞将

【問い】 除雪について、今後どのように対応していくか伺いたい。

【答え】 市では、スムーズな除雪に努めているが、除雪機械やオペレーターの確保が難しくなっていることなど作業上の課題もある。

【問い】 同地区市街地整備の今後の事業見通しについて伺いたい。

【答え】 事業を進めるに当たっては、費用や期間を大幅に圧縮できる修復型の区画整理が有効な整備手法であり、早期に事業効果が出るよう、工区を分けた段階的な整備も重要であると考えている。

新型インフルエンザ等対策行動計画を策定する際の視点は

きずなクラブ

三浦 博司

【問い】 同行動計画をどのような視点から策定するのか伺いたい。

【答え】 市では、現行の行動計画を改正し、平成26年度中に新たな行動計画を策定することとしており、その際には、迅速で正確な情報提供、予防およびまん延防止に関する知識の普及・啓発、住民への予防接種の実施などについて、感染症に関する専門家などの意見を聞きながら定めていく。

売市第三地区市街地整備の事業見通しは

自由民主・市民クラブ

立花 敬之

【問い】 同地区市街地整備の今後の事業見通しについて伺いたい。

【答え】 事業を進めるに当たっては、費用や期間を大幅に圧縮できる修復型の区画整理が有効な整備手法であり、早期に事業効果が出るよう、工区を分けた段階的な整備も重要であると考えている。

【問い】 建築物の耐震改修の促進に関する法律について、今回改正された経緯と概要を伺いたい。

【答え】 同法は、耐震化率の達成率が目標値に満たない状況や首都直下型地震などの発生に備えるため、昨年11月に改正された。この改正により、大規模建築物などに対し、平成27年12月末までに耐震診断を実施し報告することが義務付けられ、市は、その内容を公表することになった。

耐震改修促進法の改正概要は

政新クラブ

高橋 一馬

【問い】 例年になく大雪により交通が混乱したが、除雪作業の状況と問題点を伺いたい。

【答え】 記録的な降雪量のため、除雪車をフル稼働しても除雪が追いつかず、その後、堅雪となったことで作業が進まなかった。作業上の問題点としては、雪を寄せるスペースがないことや、路上駐車をしている車両が除雪の障害となるなどが挙げられる。

【問い】 死亡から火葬までの日数を短縮できないか伺いたい。

【答え】 昨年1月に斎場の火葬炉を6基から7基に増設したことで、火葬までの日数が平均5日から4・2日に改善されたが、高齢化の進展に伴い、今後も火葬件数が増加し、火葬までの日数が長くなっていくと予想されることから、解決策として、休場日を減らすことなどについて検討していく。

南郷区内観光地のバス路線化を

自由民主・市民クラブ

伊藤 一喜

【問い】 南郷区内に多数存在する観光地をバス路線化する考えはないか伺いたい。

【答え】 現在、南郷区方面と中心街方面を結ぶ路線は3路線あるが、いずれも赤字路線である。このような状況の中で、現在の路線を南郷区内の観光施設に乗り入れた場合、走行距離が増えることによる運行経費の増大などの課題が出てくるため、現時点では難しいと考えている。

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

大雪の際の除雪作業状況と問題点は

きずなクラブ

田中 満

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

火葬までの日数短縮を

日本共産党議員団

田端 文明

【問い】 死亡から火葬までの日数を短縮できないか伺いたい。

【答え】 昨年1月に斎場の火葬炉を6基から7基に増設したことで、火葬までの日数が平均5日から4・2日に改善されたが、高齢化の進展に伴い、今後も火葬件数が増加し、火葬までの日数が長くなっていくと予想されることから、解決策として、休場日を減らすことなどについて検討していく。

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

指定文化財調査資料のデータベース化を

自由民主・市民クラブ

高山 元延

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

今後の企業誘致策は

自由民主・市民クラブ

島脇 一男

【問い】 企業誘致にどのように取り組んでいくのか伺いたい。

【答え】 優遇制度のメニューを多様化させた八戸市企業立地促進条例の改正案を本定例会に提出しているほか、当市における大型物流拠点の可能性を検討していきたいと考えている。

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

指定文化財調査資料のデータベース化を

自由民主・市民クラブ

高山 元延

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

【問い】 市指定文化財の調査資料をデータベース化する考えはないか伺いたい。

【答え】 同資料の記録は、紙やデジタルデータなど複数の媒体で保存されているため、一元管理できるようデータベース化を進めることは今後の課題であるが、作業には相当の時間や人員などを要する

お知らせ

本会議、常任・特別委員会、常任委員会協議会および議員全員協議会は、どなたでも傍聴することができます。

また、車いすの方は、市庁本館3階議会事務局で、本会議のテレビ視聴ができます。

3月定例会では53人の傍聴者がありました。

次回定例会は、6月に開催予定です。